

■八尾市都市基盤施設維持管理推進会議（第2回）議事録

日 時：平成30年5月21日（月） 15:30～17:00

場 所：近畿大学38号館3階 S315会議室

出席者：近畿大学理工学部 米田教授、東山教授

八尾市都市整備部 20名

=====

◎次 第

1. 報告事項

- （1）八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み（平成29年度）について
- （2）今後を見据えた都市基盤の整備及び維持管理（所管事務調査）について

2. 議事

- （1）平成29年度の維持管理（行動計画）の実績評価について [議案1]
- （2）平成30年度の維持管理（行動計画）の行動目標について [議案2]
- （3）平成30年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて [議案3]

3. 意見交換

=====

◎協議録（詳細）

1. 報告事項

- （1）八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み（平成29年度）について
- （2）今後を見据えた都市基盤の整備及び維持管理（所管事務調査）について
※別紙参照（平成29年度の取り組み報告）

2. 議事

- （1）平成29年度の維持管理（行動計画）の実績評価について [議案1]

【土木建設課】

- ・小規模橋梁の点検・診断・修繕について、先進的に取組んでいる自治体を訪問し、本研修で得た情報を基に、（八尾市版）橋梁定期点検マニュアルの策定に向けた検討を行った。
- ・新たな点検基準に基づき、市内（全478橋）の橋梁点検を実施した。
- ・市内（全478橋）について、市職員による日常点検（定期パトロール）を実施した。

【土木管理事務所】

- ・日常的な維持補修に関する要望・通報に関し、第三者に影響を及ぼす等、危険度・緊急度を考慮（優先順位付け）した対応を行った。
- ・市職員や民間委託による道路・河川・公園施設の日常点検（パトロール）を実施した。
- ・都市基盤施設のメンテナンスを担っている土木管理事務所（直営土木班）の取り組みについて、広報チラシ「NEWS都市整備」を通じ、積極的に都市基盤施設の維持管理の必要性をPRした。

【土木管財課】

- ・「工事履歴」や「要望・通報」レイヤ、橋梁台帳等の項目を道路台帳に追加した。
- ・要望・通報データ（土木管財課：受付分）をリアルタイムに道路台帳へ入力した。
- ・法定外公共物（里道・水路）の売却、広告付き駅周辺案内地図の設置による財源確保に努めた。

【都市政策課】

- ・ まちなみセンターの指定管理者制度（H29～H33）による日常管理を実施した。
- ・ 大規模地震を想定したブラインド型の防災訓練を実施した。※八尾市総合防災訓練（H30. 1. 20）

【交通対策課】

- ・ 自転車駐車場の指定管理者制度（H28～H30）による日常管理を実施した。

【都市基盤整備課】

- ・ 先行取得用地（24 箇所）について、市職員による日常点検（定期パトロール）を実施した。

【みどり課】

- ・ 地域拠点との協働により、新たに 3 公園でアドプト登録して頂いた。
- ・ 近隣公園の施設とネットワーク化を図るため、重複する公園施設の統一（適正配置）を図った。

【下水道管理課】

- ・ 八尾市公共下水道ストックマネジメント計画（実施方針）を策定した。

（2）平成 30 年度の維持管理（行動計画）の行動目標について〔議案 2〕

【土木建設課】

- ・ 新たな点検基準に基づく点検結果を反映した橋梁の個別施設計画の見直し検討を進める
- ・ 橋梁定期点検マニュアル（素案）に基づく点検・診断を実施する。
- ・ 新たな点検基準に基づき、横断歩道橋の定期点検（H30）を実施する。

【土木管理事務所】

- ・ 地域拠点を通じたインフラ施設の維持管理の啓蒙活動を進める。
- ・ 市職員による道路・河川・公園施設の日常点検（定期パトロール）を実施する。
- ・ 限られた財源と人材のなかでの実施可能な個別施設計画の策定に向けた検討を進めていく。

【土木管財課】

- ・ 法定外公共物（里道・水路）の売却による財源確保に努める。

【都市政策課】

- ・ 地震災害パトロールや、風水害パトロールによる風水害活動を実施する。

【交通対策課】

- ・ 自転車駐車場の具体的な機能更新等を盛り込んだ指定管理者の選定基準の見直しを検討する。

【都市基盤整備課】

- ・ 先行取得用地（24 箇所）について、市職員による日常点検（定期パトロール）を継続実施する。

【みどり課】

- ・ 継続的なアドプト（愛護活動）、及び公園施設の適正配置を図るための検討を進めて行く。

【下水道管理課】

- ・ 八尾市公共下水道ストックマネジメント計画（基本方針）に基づく点検・調査を実施し、順次、修正計画を策定し、事業費の平準化を図っていく。

（3）平成 30 年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて

- ・ 「まちの課題対応への新たなアプローチ勉強会（H30. 6. 29）」にて、本市の事例報告を発表する。
- ・ 市職員による橋梁の日常点検（定期パトロール）を実施（H30. 9～12）する。
- ・ 八尾市版の橋梁定期点検マニュアル（素案）を策定のうえ、点検・診断を実施し、その評価・検証をテーマにした「橋梁点検研修」を実施する。
- ・ 最後に、担当者会議（H31. 3）を開催し、今年度（H29）の取り組みを総括する。

3. 意見交換

- ・新たに確保した財源を都市整備部で使えるような働きかけをしていきたい。
- ・学識意見も取り入れ、スケジュール感をもって個別施設計画の策定を進めてほしい。
- ・財源確保に向け全庁的に都市基盤施設の維持管理に必要性を訴えていく必要がある。
- ・職員の技術力向上のため、日常点検の手法を構築する等、実績を積み上げてほしい。
- ・本会議を活用し、施設毎に応じた維持管理手法の検討を進めてほしい。
- ・橋梁だけでなく、下水道も重要な施設であることを啓発していく必要がある。
- ・マンホールの蓋を広告として、新たな財源確保を検討してはどうか。